

## ジュッペちゃんの涙 (No.47)

平成 23 年 (2011 年) 4 月 27 日

大中里保育園 園長 塩川寿平

私は、園児が良い子に育つ為には家庭教育の力が 50%、公教育（保育所・幼稚園・小学校・中学校・社会教育）の力が 50%であると確信します。各家庭は経済力が違いますから、支え合う心を表現する救済募金の『金額に真実の意味を持たせる』のは 100%家庭教育の責任です。公教育で平等に平均的答えを出すのは救済募金の意味の真実ではありません。そのようなわけで家庭教育においてのみ支え合う金額について園児に伝えることができるのです。

### おさな子にも『支え合う心を』伝えましょう

#### －大震災と家庭教育の大切さ－

#### 東日本大震災への義援金について

##### ① 取り組みの始まり

私たち的大中里保育園がしなければならないことは「何だろうか」「何ができるだろうか」と考えている時でした。被災地の保育所や子ども、子育て家庭等のたくさんの方々の被災のニュースが3月11日以後、毎日のようにテレビや新聞で知らされるようになり、大変心を痛めておりました。

早速、静岡県保育所連合会（会長 太田嶋信之）と静岡県保育士会（会長 村松幹子）から静岡県下の保育所の取り組み『東日本災害に対する救済募金のお願について』が提案されました。同じく全国保育3団体（全国保育協議会・日本保育協会・全国私立保育所連盟）、同じく全国保育士会も募金活動を実施することとなりました。

私たち同志は、静岡県保育所連合会がまとめ役となって一本化して実施することとなりました。そこで私たちの保育園も静岡県の組織の一員として行動することとしました。義援金の配分方法については、被災地の保育所や子ども、子育て家庭等の支援を重点に静岡県保育所連合会理事会・正副会長において協議の上決定し詳細については、後日、協力園に報告されることで、救済募金活動の実施となりました。

##### ② 大中里保育園の呼びかけ

今回の大震災について現金に注目して集金することを第一の目的としないこと。

第一の目的は、3歳4歳5歳については『支え合う心の大切さを親の言葉でわかるようにていねいに伝えること』です。たとえば家族のだんらんを持ち、新聞などを見ながら・・・[母]『タロウちゃん（仮名）と同じこの5歳の子はネ。お家が津波でなくなっちゃったんだって』。新聞の写真を指さしながら[母]『今はこうして中学校の体育館で暮らしているんだね。食事はおにぎりだって。寝るベットもないんだよ。大変だね』。[タロウ]『この子はお父さん見つからないんだって。かわいそうだね』。[母]『おかあさん何か応援したくなっちゃった。タロウちゃんはどう思う』。[タロウ]『かわいそう』。[母]『できることしようね。保育園の募金箱におかあさんも寄付するから、タロウちゃんもお小遣いから寄

付しましょうね。[タロウ]『分かった。あした保育園の募金箱にこのお小遣い入れるよ』。……会話はどのような展開でも良いので『被災地の人々を思い、支え合う心を親子でお話してください。』このことが第一の目的です。

震災の救援活動はこれからも長引くと思いますので、震災報道が有る度に日本中の家族がそれぞれに、家族の団らんの中で『支え合うことの大切さを話し合う必要があります。』よろしくお願いします。

0歳1歳2歳については『家族で同じ年齢の子どもを思いながら祈ること』です。そして、その祈りの寸志をクラスの募金箱に入れてください。よろしくお願いします。

### ③ 幼児の参加は父母による家庭教育として意味をもちます

救援募金は家庭ごとの経済力に合わせた現金の提供です。経済力の違いがありますから、それぞれの家庭の募金に対する思想形成が根っここのところになければなりません。現金をあつかう寄付行為ですから本来は収入のある大人の自由意志の問題であり、幼児は関係ありません。

しかし私は国家的な危機に対しては『すべての日本人が支え合う心を持たなければならない』と考えます。それを教えるのは幼児からであり、親から子へ伝える家庭教育でしかできないテーマです。近所の人が出来るわけでもなく。市役所の人が出来るわけでもありません。経済力が違いますから、やはり1軒1軒の家庭で親から子へ『支え合う心』の教育が開始されるべきです。

ある程度子どもが大きくなって自主判断できるような年齢になればが学校教育や社会教育でできますが、なにしろ幼児という小さい時から始めなければならないので、それは家庭教育の役目だと思うのです。未熟な発達過程にありますが3歳4歳5歳ともなれば『支え合いの大切さ』の理解は芽生えの時期を迎えます。父・母・肉親ならばこそ責任を取ることができます。父・母・肉親は家庭団らんの中で「我が子」「我が孫」に心をこめて語りかけてください。そして家族一緒に救援募金をいたしましょう。助け合いこそ再建の道です。

### ④ 救援募金は4月5～15日の期間で行いました。結果をご報告いたします。 総合計¥50,279円を4月18日に静岡県保育所連合会に送金しました。 皆々様に心から感謝申し上げます！！

A【園児66名と家族】=合計13,279円

ひかり組(0歳・6名) =2,147円

ほし組(1歳・10名) =1,500円

つき組(2歳・10名) =2,350円

そら組(3歳・15名) =4,114円

にじ組(4歳・14名) =2,267円

たいよい組(5歳・11名) =901円

B【職員18名】=合計37,000円

1名×10,000円 =10,000円

1名×5,000円 =5,000円

1名×3,000円 =3,000円

4名×2,000円 =8,000円

11名×1,000円 =11,000円

総合計(A+B) = ¥50,279円